

別添 4

厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）

分担研究報告書

AYA 支援に関する医療従事者教育の研究（分担研究課題名）

研究分担者 吉田沙蘭

東北大学大学院 教育学研究科 准教授

研究要旨

医療従事者を対象とした AYA 支援の体制づくりのための研修プログラムを開発することを目的とし、すでに支援体制の構築に取り組み始めている先駆的な施設を対象に、パイロット研修プログラムを実施した。その結果、研修プログラムを通して、支援体制のための課題および必要な取り組みがより具体化、発展することが明らかとなった。本研究の成果をもとに、次年度は、支援体制の準備を始める前の段階にある施設を対象とした研修プログラムを開発することとする。

研究目的

AYA 支援体制の整備が求められているが、新しい取り組みであるがゆえに、現状十分な支援体制が構築されている施設は少ない。また、新規で支援体制の構築を検討している施設にとっても、どのように取り組むのが効果的か不明であるため、困難な課題となっている。そこで、本研究では、医療従事者を対象とした AYA 支援の体制づくりのための研修プログラムを開発することを目的とする。

A. 研究目的

AYA 支援体制の整備が求められているが、新しい取り組みであるがゆえに、現状十分な支援体制が構築されている施設は少ない。また、新規で支援体制の構築を検討している施設にとっても、どのように取り組むのが効果的か不明であるため、困難な課題となっている。そこで、本研究では、医療従事者を対象とした AYA 支援の体制づくりのための研修プログラムを開発することを目的とする。

B. 研究方法

初年度である本年度は、先駆的に AYA 支援

体制の構築に取り組んでいる施設を対象に、パイロット研修プログラムを実施し、その効果および今後の課題を明らかにした。

平成 30 年 6 月に、施設を対象としたパイロット研修を実施した。研修前に、各施設における AYA 支援体制構築のための課題および、短期的・長期的な目標について記入する課題を課した。研修では、AYA 支援のために必要な、妊孕性温存、ピアサポート、就労支援等の課題に関する講義をとともに、支援体制構築のための課題や解決策について他施設の医療者とディスカッションを行うグループワークを行なった。研修後、講義およびグループワークの内容を受け、各施設での短期的・長期的な目標を見直すこと、実際に施設内で必要な取り組みを実行に移すことを課題とした。半年後に、再度調査を実施し、各施設の支援体制の整備状況を尋ねるとともに、支援体制構築のための課題および、短期的・長期的な目標について記入を課した。

C. 研究結果

AYA 支援体制構築に際しては、①AYA 支援チームの立ち上げ、②AYA がん患者の捕捉、③AYA チームの院内周知、④AYA 支援に関する普及啓発、⑤スクリーニング方法の整備、⑥ネットワーク（生殖医療、教育連携、患者会等）の整備、⑦病棟・病床等の環境整備、などが課題としてあげられることが明らかとなった。半年後の調査からは、研修プログラムを行うことにより、教育プログラムで扱ったテーマについてはより課題が明確化、具体化することが明らかとなった。また、他施設の課題や取り組みについて情報交換することにより、研修前と比較して、新たな目標や、より発展的な目標が設定される施設も複数見られた。

D. 考察

研修プログラムを実施することにより、支援体制の構築に向けて、自施設の課題や必要な取り組みが具体化することが明らかとなった。また、他施設の取り組みを知ることにより、新しい目標が設定され、実際の行動にも反映されることが明らかとなった。本年度は、パイロットとして、すでに何らかの取り組みを始めている先駆的な施設を対象に研修を行なった。今後支援体制の準備に取り組む前の段階の施設を対象に研修を行う際には、先駆的な施設が具体的にどのような課題を抱え、どのように解決していったのか、ということ情報を共有することで、各施設における取り組みを促進することができると考えられる。

E. 結論

本年度の成果から、講義だけでなく実際の施設の取り組みについての情報が有用であることが明らかとなったため、次年度以降の

研修においては、その点を考慮しながらプログラムの作成、改善を行っていく予定である。

F. 健康危険情報

該当なし

G. 研究発表

該当なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

該当なし